



年度変わり目のごあいさつ

季節はすっかり春へと装いをかえ、かみね公園の桜も開花が発表されました。開花と言ってもソメイヨシノは、まだほんの2分、3分咲きといったところですが、公園の一角にある早咲きの桜はもう満開を迎えています。1年のうちで一番心がワクワクする季節ですね。



《かみね公園の早咲き桜》

そんな春先、ワクワクシゴトになりますが本日3月31日をもちまして定年退職となります。市役所に入所して37年間、いろんな仕事を経験し、いろんな人との出会いがあり、とても充実した役所生活でした。特に、最後の異動となった動物園、自分の個人的な思い入れでは一番楽しく自由に仕事させていただいた職場となりました。前々市長から、「園長をやってくれないか」と突然の思いがけない打診をされた時の内からこみ上げる嬉しさは今でも忘れません。以来約9年間、ドブプリと動物の世界にはまり込み、絶対抜け出したい気持ちから、よせばいいのにむさ苦しい髭などを蓄え「私はずっとここでいいですから」をひそかにアピールしてきました。途中からは、かみね公園管理事務所長としての肩書も与えられ温水プールや温浴施設を含む公園全体の施設運営も任されていたのですが、基本は常に動物園にありました。ゾウのミネコさんやスズコさんには鼻水や砂などをかけられながらも（いまだに）、飼育員や獣医との会話は、事務だけを経験してきた身としてはとても新鮮で、自分なりに動物のことを学び、経験する中で仕事とは違った意味で知的興奮の連続でした。ここにいる動物たちはなぜこんな体になったのか、人間とほかの動物とは何が違うのか、生き物とはなんなのか、なぜ生命が誕生したのか、などなど興味は尽きません。ずっと事務部局にいたら考えもしなかったことかもしれません。また多くのほかの動物園水族館の方とも広く交流し、ネットワークも広がりました。これも動物園に来たからこそ得られたもののひとつです。本当に自分の血となり肉となった（かな？）9年間でした。



《ずいぶんやられました》

というわけで、これでオシマイ、かというところではなく、4月1日付けで新たに非常勤嘱託としてまた園長をやらせて頂くことになりました。動物園は生き物を扱うところですが、動物園自体も生き物です。絶えず新しいものが入り古いものと入れ替わる。生命の条件の一つに代謝がありますが、まさに動物園にもあてはまります。動物園整備に終わりはありません。29年度の開園60周年を記念した獣舎整備や、そのほかやることはたくさんあります。また、展示目的の一つとしてお客様への普及啓発などの楽しい仕事も待ってます。

今後は動物園を含む全体の公園管理は新しく来る所長さんにお任せし、私は動物園だけに絞っていきますので、「また、お前か」と言わずこれからもよろしくお願ひします。

[※どうぶつのに「あっ、かみね動物園だ！」Vol.27はこちらから。](#)（新しいウインドウが開きます）

なお、どうぶつのに連載もVol.27をもって終了させていただきました。
ご愛読いただいた皆様、ありがとうございました。

2016年3月31日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)